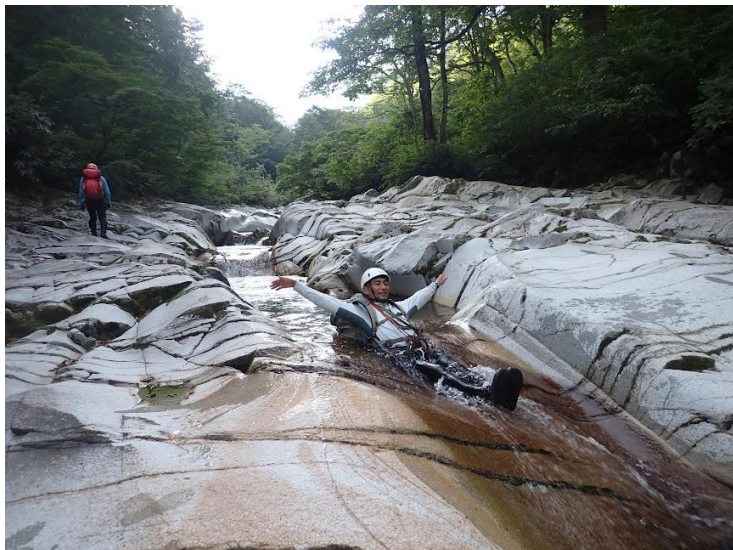


# 上越・万太郎谷～井戸小屋沢右俣

T野

2023年9月2日

メンバー： T野・I崎・N野・I塚（お試し）



「上越の沢にハズレなし！！」そうなのだ！！あまりに美しい沢が多いので、沢登りにはまった1980年代から1990年代にかけてホント足繁くに通ったものである。湯檜曾本谷・万太郎本谷・赤谷川・笹穴沢・西ゼン・・・・・・・・。もう、非の打ち所がなく、ゲップが出るほどに美しいのだ。しかし、あまりに高頻度にそんなメジャーどころの沢を遡行してしまうとホントにゲップが出て（美人も見慣れると飽きるのと同じように。）、いつしか興味は奥利根や東北の溪へと移っていった。今では「あばたもエクボ」的な沢も未知の沢なら案外楽しめるようになってきたので行先は無数にあり困ることはない。だから、別に封印したわけではなかったが、上越の沢は久しくご無沙汰であった。ちなみに万太郎谷は1986年に遡行していて、その明るさと美しさに大はしゃぎ！！ウォーターライダーの洗礼を初めて受けたのも確かこの沢である。まだ20代の若く感受性の豊かな頃の話である。そして、今、60代半ばが見えてきたところで行き逃した上越の沢で、再び気になっていた場所がある。遡行しただれもが、その美しさ面白さを絶賛している「井戸小屋沢右俣」だ。

- 写真上 万太郎名物、滑り台！！
- 写真中 真っ白な花崗岩とヒスイ色の透明な淵、まさに銘溪だ！！
- 写真下 ここも万太郎名物、オキドウキョの入口だ。

ところで「美しい花には棘がある！！」とよく言うが、これはまさに上越の沢を表わす言葉である。そ



う、ただ美しいだけでなく、危険な香りのする「棘」も、その美しさの中に必ず隠れているのである。特に、メジャーどころから外れた沢にその鋭い「棘」が隠れていることが多いのだ。

かつて、井戸小屋沢は左俣がガイド本で紹介されていた。「日帰り4級!!」まさしく危険がいっぱい、「棘棘」の沢である。自分の実力では間違っても遡行したいとは思えない沢であった。しかし、いつのころからか、左俣に代わって右俣が良く紹介されるようになってきた。理由は、なんでも左俣の「棘棘」の部分ほとんど抜いて、「チョイ棘」程度で、その美しさ面白さだけはしっかり残したのが右俣らしいのだ。「もう、これは充分メジャーの仲間入りでしょう!!」。「日帰り2級上」確かにこれなら僕でも充分想定内である。ということで、これが再び気になる存在となった理由である。



■写真上 オキドウキョの淵を泳ぐ!!

■写真中 オキドウキョの淵の小滝に取付く!!

■写真下 オキドウキョの最後の滝をシャワー!!



ところで、今回集まったメンバーは珍しく男性専科、皆、経験豊富で沢慣れしていて、体力も銀座の中ではまあまああるメンバーが揃った。今回、お試しで参加してくれたI塚さんも、話を聞いたところ、かなり沢慣れた方のように、（そうでなければ、お試しでこの



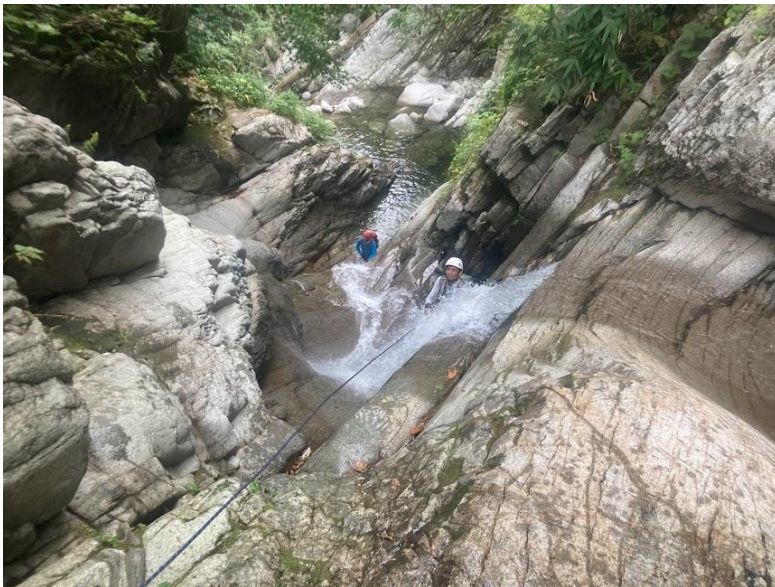
沢には誘わない。) しかも 40 代前半!! 銀座の中では抜群に若い!! 体力もきっと全く問題ないであろう。むしろ、今回、僕がパーティーのペースメーカーになる可能性が高いのではないか!!

足手まといにならぬよう頑張らねば・・・。と思い、気を引き締めて行ってきました。

では報告です。

前夜は昭和村の I 崎さん宅にお世話になる。I 崎さんと I 塚さんが持参した日本酒が美味しく、明日は早いというのに、つつい宴会が長引いてしまう。25 時過ぎにようやくお開き。I 崎さんの計らいで快適な布団で爆睡。

当日は 4:30 起床、途中コンビニで朝食及び、行動食を購入し入山地へ。万太郎谷沿いの林道を 735m 付近まで入り車をデポ。準備して 6:30 に出発。スリット堰堤手前で入渓する。まもなく万太郎谷は本領を発揮、白い花崗岩と透明度



の高いヒスイ色の淵、美しいナメ・・・。ゴークはほとんどなく、岩盤が発達した素晴らしい溪相が続く。さすがメジャー級だ!! ただ、最近雨がほとんど降っていないようでかなり渇水気味、名物のナメの滑り台も水の勢いがなくあまり滑らない。この後、溪は美しい滝や淵が連続し時に泳いで、時にへつって、たまに攀じって楽しく遡行する。やがて、左岸からの枝沢が滝で出会うと万太郎谷名物オキドウキョの淵である。渇水気味で水温も高いのでここも気持ちよく泳いで突破。出口の滝もシャワーを浴びながら難なく突破と順調である。

■写真上 オキドウキョの出口の滝をシャワー!!

■写真中 井戸小屋沢の 2 つ目の滝をシャワー!!

■写真下 井戸小屋沢は岩盤の発達した美溪だぜ!!



オキドウキョを越え、しばらく行くと井戸小屋沢出合である。最初の滝は I 塚さんだけが泳いで取付いて、細かいホールド、スタン



スを上手く使って登り切った。しかし、ここは右岸をあっさり負けるのでI塚さん以外は登山道のような巻き道を労なく巻く。余計なことはしない、体力温存である。次の10mくらいの滝は一応ロープ使用で豪快にシャワークライミング。この後はもう、怒涛の如く滝や淵が連続してその対応に忙しい。ただ、極端に悪いところはなく、一見、「無理そうだなー」と思っても近づいてみると案外行けたりして、登っていて楽しい！！



■写真上 フリクション抜群！！

■写真中 水量は少ないけど積極的に水に浸かる。

■写真下 ゴルジュもあるですよ！！



前方が開けると岩肌むき出しの険しい地形が一気に競り上がっていて威圧的だ。水量は少ないが深く掘れたゴルジュはしっかり水に浸かることができクールダウンにはもってこい。滝は全て直登できるが、中には小難しい滝もあり、25m大滝の少し下にある10mくらいの滝は見た目、かなり難しそう。I塚さんがフリーで右壁から取付くが、中間部で左にトラバース気味に登るところが、手掛かりが全くなく苦労した末にようやく登って行った。「これはロープだロープ！！」と迷うことなくロープを要求してN野がセカンドで登る。その時に、あの手掛かりのないトラバース時に、右後方に、ちょうど手掛かり用



に浅打ちしたハーケンを見つけて、これを右手でつかめば「あーら不思議」スムーズにトラバースができたのである。答えを知ってしまえばそれほど難しい滝ではなかったが、その答えを見つけるのがなかなか難しいのである。それに、このハーケン、ホント浅打ちなので、掴むときはバランスを保つための支えくらいに考えて、引っぱったり、全体重をかけたたり決してしない方がよい。

さて、この滝を越えるとすぐに、上方に広い空間が開け、この沢最大の25m大滝が現れる！！美しい優雅な滝である。ここは右壁が傾斜も緩くロープも不要、楽しく登れる。



■写真上 浅打ちのハーケンに助けられて右壁を登った10m滝、いかにも悪そうだ！！

■写真中 快適に登れる25m大滝、打ち合わせなしで何故か全員同じポーズ！！

■写真下 右俣と左俣を分ける二俣。



さらに遡行を続けると20分ほどで二俣、ここは当然右俣へ。ますます傾斜がきつくなり、今まで白く美しい岩肌だったが、右俣の滝は黒光りしたえげつない岩肌となり、見た目、いかにも滑りそうだ。気をつけて足を置きながらも各々フリーで登って行く。左俣はきっとこういう滝が一筋縄ではいかないのだろうが、右俣は、さすがに2級上、慎重に登ればロープはいらな



い程度の難しさで、グイグイ登って行ける。同じような傾斜の強い黒光りする岩肌の滝が3つくらいあったらどうか？それらを越えると、水も枯れて最後の詰めとなる。沢床をずっと行けて、藪もないので傾斜が急なだけの快適な詰めだった。それでも充分しんどいが・・・。  
結局、最後まで窪を詰めて稜線の登山道に出た。

■写真上 右俣は黒い岩肌の滝が連続する。

■写真下 終了！！

下山は急峻で部分的に注意を要する場所もあるが、何より短時間で降りられるのが良い。2時間とかからずに車に戻ることができた。コスパ最高である。

温泉は岩の湯（¥500）この値段なら満足だが、ロッカーの¥100が戻らないのがちょっといただけでない。そして、打上げは越後湯沢駅前の蕎麦の名店「中野屋」。天ざる蕎麦を食したが、蕎麦も天ぷらも旨い！！価格も¥1500でお釣りがくるので、名店のわりにはリーズナブル。満足満足。

井戸小屋沢右俣の印象は、ホント無駄なところが全くなく、アトラクションを凝縮した素晴らしい沢！！という感じです。人間でいえば細マッチョのイケメン。まあ、銀座にはいないタイプかな。さらに、虫もいなくて快適！！ただ、1泊で行こうと思うと（先々週、1泊で計画



したが天候不良で中止した経緯がある。) 快適に泊まれる場所は、井戸小屋沢に入ってしまうと全くないので、万太郎谷下部に求めるしかないだろう。それなら、いっそう日帰り装備で一気に行った方が得策である。もし、小難しい滝で全てロープを出すことが必要なパーティーなら、日帰りで抜けるには早朝出発が必至である。下山ルート of 道ははっきりしているので最悪ヘッデンになっても降りられるだろう。ということで、重荷で1泊するより、軽装での日帰りをお勧めします。今回、メンバ

ーの力量が安定していたので、ロープを出したのは2回のみで、基本フリーで登ったため、コースタイムはほぼ、僕のタイムレコードに近いと思う。メンバーにもよるが、ロープを頻繁に出すなら今回のコースタイムの1.5倍くらい見ておいた方が良いでしょう。

最後に、また、行きたかった沢に行くことができ、今回一緒したメンバーに感謝!! お試ししたI塚さん、ぜひ、また一緒しましょう!! その時は銀座の会員になっていると嬉しいです。

#### ■コースタイム

735m車デポ地 (6:30) ~ 入溪 (6:40) ~ (7:05) 名物滑り台 ~ (7:40) オキドウキョ  
(7:55) ~ (8:10) 井戸小屋沢出合 (8:20) ~ (10:12) 25m大滝 (10:20) ~ (10:55) 二俣 ~ (12:00) 登山道 (12:20) ~ (13:55) 735m車デポ地